

平成 24 年度 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
斎藤加代子	脊髄性筋萎縮症 診療マニュアル 第 1 版	SMA診療マニ ュアル編集委員会	脊髄性筋萎縮症診療 マニュアル第 1 版	金芳堂	京都	2012/05	pp150
斎藤加代子	脊髄性筋萎縮症	遠藤文夫(熊本大 学)	脊髄性筋萎縮症. 小 児科診断・治療指針 初版	中山書店	東京	2012/08	764-766
		サトウタツヤ・若 林 宏輔・木戸彩 恵	社会と向き合う心理 学	新曜社	東京	2012	全 340 頁
福田茉莉	クオリティ・オ ブ・ライフとは 何か?	サトウタツヤ・若 林宏輔・木戸彩 恵	社会と向き合う心理 学	新曜社	東京	2012	pp.135- 150
赤阪麻由	当事者研究の あり方	サトウタツヤ・若 林宏輔・木戸彩 恵	社会と向き合う心理 学	新曜社	東京	2012	pp167- 180
		安田裕子・ サトウタツヤ	TEM でわかる人生 の径路 質的研究の 新展開	誠信書房	東京	2012	全 262 頁
Tatsuya Sato, Mari Fukuda, Tomo Hidaka, Ayae Kido, Miki Nishida and Mayu Akasaka	The Authentic Culture of Living Well: Pathways to psychological well-being	Jaana Valsiner	Oxford Handbook of Culture and Psychology	Oxford Universit y Press	oxford	2012	pp1078- 1092

平成25年度 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
川口有美子	14歳の看取り—死にゆく人のためにできること		特別授業“死”について話そう(14歳の世渡り術)	河出書房	東京	2013	216-225
斎藤加代子	遺伝カウンセリング	日本小児神経学会教育委員会	小児神経学の進歩	診断と治療社	東京	2013	13-21
斎藤加代子、久保祐二	脊髄性筋萎縮症	辻省二総編	すべてがわかるALS・運動ニューロン疾患	中山書店	東京	2013	116-124
サトウタツヤ			質的心理学の展望	新曜社	東京	2013	全 278 頁
サトウタツヤ	心理と行動に関わる理論	やまだようこ・麻生武・サトウタツヤ・秋田喜代美・能智正博・矢守克也	質的心理学ハンドブック	新曜社	東京	2013	98-114
		福田茉莉・安田裕子・サトウタツヤ	共同対人援助モデル研究6 - 変容する語りを記述するための質的研究法：TEM and Narrative As Archives	立命館大学人間科学研究	京都	2013	全 95 頁
中山優季	第5章 難病を支えあう—難病看護の立場から—	浅見昇吾/編	上智大学新書 005 死ぬ意味と生きる意味-難病の現場からみる終末医療と命のあり方	上智大学出版, ぎょうせい, 1	東京	2013	171-190
川口有美子	第6章「生きる力」を支える事前指示書(リビングウィル)のために	浅見昇吾/編	上智大学新書 005 死ぬ意味と生きる意味-難病の現場からみる終末医療と命のあり方	上智大学出版, ぎょうせい, 1	東京	2013	191-221

平成25年度 研究成果の刊行に関する一覧表

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
松田純		松田純・宮下修一・青田安史・天野ゆかり	在宅医療と介護 こんなときどうする？ ケースで学ぶ倫理と法	南山堂	東京	2014	1-150 予定
松田純・玉井真理子		松田純・玉井真理子	シリーズ生命倫理学 第 11 巻 遺伝子と医療	丸善出版	東京	2013	1-256
松田純	遺伝医療と社会—パーソナルゲノムがもたらす新たな課題	松田純・玉井真理子	シリーズ生命倫理学 第 11 巻 遺伝子と医療	丸善出版	東京	2013	1-24

平成 24 年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
斎藤加代子	脊髄性筋萎縮症0型の1例	脳と発達	Vol.44 5:	31-34	2012
斎藤加代子	脊髄性筋萎縮症の診断とケア	難病と在宅ケア	vol.18, No.9	pp.40-43	2012/12
斎藤加代子	日本における脊髄性筋萎縮症の臨床実態調査	東京女子医科大学雑誌	;83(臨時増刊号)	E52-E57	2013
川口有美子	「前代未聞!患者団体による研究班を立ち上げて」	難病と在宅ケア	vol.18, No.1 1	pp.60-61	2013/2
荒川歩・安田裕子・サトウタツヤ	複線径路・等至性モデルの TEM図の描き方の一例	立命館人間科学研究	25	95-107	2012
Mayu Akasaka	Place and Relationship in Which Narratives of Illness are Produced: Stories from the Multiple Self.	Ars Vivendi Journal	2	22-27	2012
福田茉莉・サトウタツヤ	神経筋難病患者の Individual QoLの変容 項目自己生成型 QOL 評価法である SEIQoL-DW を用いて	質的心理学研究 (原著論文)	11	81-95	2012
松田純	生の自由を支える事前指示 ドイツにおける事前指示の法制化と医師による自殺幫助をめぐる議論のなかから	難病と在宅ケア 2012年5月号	vol.18 No.2	17-21	2012
松田純	在宅医療における医療倫理 尊厳死法と事前指示	薬局 2012年8月号	vol.63 No.9	29-35	2012
松田純	医療による願望実現	倫理学年報(日本倫理学会)	61号	64-67	2012
松田純	薬剤師の“臨床倫理”科学知と人文知の統合を、	医薬ジャーナル 編集長 VISITING (349)	Vol.48.No.1 2、2012年 12月号	150-157	2013

平成 25 年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
藤野陽生・齋藤利雄・井村修・松村剛・神野進	Duchenne型筋ジストロフィー児への病気の説明に関する調査	脳と発達	第45巻第1号	pp.11-16	2013年
川口有美子	「対談 死なせないための、女子会」	現代思想	41-7	P51-67	2013年5月
川口有美子	在宅で重度障害者と家族を支える介護者に臨む「待ちのケア」	看家広報『はなえみ』	84号	P1	2013年 11月25日
川口有美子 潮谷義子	「これまでの福祉」から「これからの福祉」へ 鍵は「当事者との出会い」「台所感覚」「福祉マインド」	『訪問看護と介護』	第19巻第2号	p89 - 95	2014年 2月15日
川口有美子	「モルヒネの倫理的で慎重な使用の可能性について」	『難病と在宅ケア』	Vol,20-No.13	p10-13	2014年 4月1日
川口有美子 佐渡島備平	「地球で生きる宇宙飛行士——『宇宙兄弟』はなぜALSを描いたのか？」	SYNODOS	http://synodos.jp/info/6942		2014年 2月4日
サトウタツヤ	質的研究とHCI の豊かな接点と未来へむけて	ヒューマンインタフェース学会誌	15	35-40	2013
サトウタツヤ	QOL測定における数値化表現の本質を問う;あるいは QOLからSEIQOLへの架橋のための素描	対人援助学マガジン	12	93-137	2013
サトウタツヤ	複線径路・等至性モデル、世界を駆ける(2) - 対人援助学 & 心理学の縦横無尽(10) -	対人援助学マガジン	13	94-103	2013
福田茉莉	難病ケアにおける患者主体のQOL評価法の可能性	共同対人援助モデル研究	6	71-80	2013

平成25年度 研究成果の刊行に関する一覧表

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
中山優季,井手口直子 ,川口有美子,橋本み さお,織田友理子	:当事者と医療者による新しい医 療の実践,	日本難病看 護学会誌	18(2),	101-102,	2013年
中井三智子	筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者に 対する難病医療専門員の支援に 関する後方視的検討 internal conflict の視点からの分析	日本難病看 護学会誌	17巻3号	229-241	2013年
松田純	事前医療指示の法制化は患者の自 律に役立つか?—ドイツや米国 などの経験から	理想	692号	78-96	2014年